



# ロータリーニュース

## ROTARY NEWS

発行所  
東京府中  
ロータリークラブ  
広報委員会

東京都府中市緑町3-5-2  
(むさし府中商工会議所会館4階)  
TEL (042) 366-6200  
FAX (042) 369-0010

東京府中ロータリークラブホームページ <http://www.tokyo-fuchu-rc.org/>



### 「さらなる発展を」

府中市長 高野 律雄

東京府中ロータリークラブの皆様におかれましては、ますますご活躍のこととお喜び申し上げます。また、貴クラブが創立55周年を迎えられましたこと、改めてお祝い申し上げます。

貴クラブにおかれましては、昭和37年の創立以来、永年にわたり、国際ロータリー精神に基づく様々な奉仕活動を積極的に展開してこられました。その活動は、恒例となりました市内小中

学生作文コンクールや教育功労者顕彰をはじめ、海外青少年交換派遣事業やラオス・カンボジアでの小学校建設など、多方面にわたるものとなっております。これまで多くの功績に深く敬意を表しますとともに、本市の青少年健全育成に、多大な貢献をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

本市では、本年「安定と愛着」「活力と飛躍」「対話と協働」をテーマに掲げ、「みんなで創る 笑顔あふれる 住みよいまち」の実現に向けて市政運営に努めておりますので、皆様方には、どうか今後とも、市政各般にわたるお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



### 「ロータリークラブの奉仕活動」

東京府中ロータリークラブ

会長 小林 伸夫

東京府中ロータリークラブは今年で創立55年を数えます。

は素晴らしい事です。小中学校の先生方に対する教育功労者顕彰式も行いました。教育の重要性、多様化が課題とされ、学校教育の難しさが指摘されるなかで、先生方の努力以上の力が発揮された事に敬意を表わし、顕彰式後に懇親会を催しました。先生方の喜びの顔、家族の方々の嬉しそうな姿は今でも目にやきついていきます。

海外との交流活動として、海外青年交換派遣事業等も行っています。

「ありがとうございます」14582通の作文が応募されました。どの作文も、ひらがな・カタカナ・漢字を使った文章でした。入選された皆様も選からもれた皆様も、世界でも類いを見ない三種の文字を組み合わせた作文を書かれたこと

交流活動の中には「国連アジア極東犯罪防止研修所」との交流は、日本の研修教官と世界各国から集う司法機関で働く犯罪の無い平和な社会を求めて研修にはげむ方々との懇親交流会もあります。

これから東京府中ロータリークラブは、青少年の健全育成に役立ち世界へ羽ばたく人を支援する奉仕活動を行い、又、平和な社会で楽しく暮らせる日々の為に社会活動をして行きたいと思っています。

(2016.7.1～2017.6.30)

## 本年度活動の



▲前年度作文コンクールの表彰式より



▶ロータリー青少年交換留学生を囲んで



▲青少年交換留学生ジュリアを成田空港にて見送り



▲源義家銅像台座修復

▲昨年度商工まつりでの活動風景



▲創立55周年記念例会



▲アジア極東犯罪防止研修所研修生の競馬場見学



▲青少年交換留学生歓送迎会





(お礼を述べられる星野先生)

# 第35回 教育功労者顕彰式

## 教育功労者の業績

日時：平成29年3月27日(月)  
場所：大國魂神社 参集殿



(お祝いを述べられる高野市長)

### ● 中学校の部 ●

特別支援学級の教員として、生徒理解に努め一人一人の意欲を高める授業改善に尽力し、その指導力は秀でたものがあります。音楽の授業では、オペラ歌手など外部の専門性の高い人材を活用した授業づくりにより、音楽への意欲と技能向上を図り、生徒の豊かな性を育てています。生徒指導に強く関わり、家庭への働きかけや関係機関との連携を積極的におこなった改善を図りました。また、特別支援教育コーディネーターを務め、高い専門的な知識や技能を活用して、校内研修委員会等で教員への助言をおこなっています。さらに、通常学級と特別支援学級の交流給食を推進するなど、交流教育にも尽力しています。特別支援学級の保護者を対象とした研修会を開催し進路や支援の方法などの学習会を推進しています。



阿部 玲子  
教諭  
府中第四中学校  
教職歴 31年  
市内在職 22年



市川 知明  
主幹教諭  
府中第六中学校  
教職歴 34年  
市内在職 18年



生野 武夫  
主幹教諭  
浅間中学校  
教職歴 32年  
市内在職 20年

国語科の教員として東京都の教育研究員等、研修、研究を重ね、府中の国語教育の発展に寄与してきました。府中市立教育研究会国語部では、研究活動を活性化させ、市内中学校国語科の研究、研修に大きく貢献しました。生徒に対してはいつも寄り添う姿勢を大切にし、生徒一人一人の理解に努め、生徒の思考力や想像力の育成に努めています。特に古典分野の書きの指導においては、豊富な知識と高い技能を基に、日本の伝統について理解を深める指導を行っています。教務主幹教諭として、学校経営方針に基づき、活力のある教員集団に育て、特に若手教員には適切なOJTを実施しています。さらに、地域ボランティア活動に積極的に取り組み高い信頼を得ています。着任以来、柔道部の顧問として健全育成にも努め、教育活動の改善・充実の中心として、顕著な功績をあげています。

### ● 小学校の部 ●

特別支援教育を専門とし、通級指導学級に通う児童への指導・支援に尽力しています。児童一人一人の困りごとにしっかりと耳を傾け、児童の状況に基づき観察することで、生活場面や学習場面における困りの原因を深く探り、原因が判ると、具体的な手だてや工夫を考え、実践しています。そして「計算棒」「手紙ファイル」「作文したじき」などのオリジナル教具を開発、活用すること、困りの解決に結び付けています。担当児童の保護者や在籍校の担任とも連携を密にし、児童の変容や指導内容をきめ細かく伝えるとともに、保護者の相談にも積極的に応じています。その誠実な対応や取組の姿勢から、保護者から好感をもたれており、信望も厚く、通級指導学級の円滑な運営に大きく寄与しています。平成27年度から校長の指示で、通常学級の支援を要する児童に対する学級担任の指導力・支援力を高めるための研修を、毎月職員会議で実施しています。具体的な手法や教材・教具の紹介が大変好評で特別支援教育の推進に尽力しています。



益田 祥子  
主任教諭  
府中第八小学校  
教職歴 13年  
市内在職 6年



田中 紀子  
主幹養護教諭  
武蔵台小学校  
教職歴 37年  
市内在職 24年



星野 弘毅  
主幹教諭  
白糸台小学校  
教職歴 17年  
市内在職 6年

保健主任・特別支援コーディネーターとして9年間、専門的知識を生かして保健業務を円滑に進めるとともに、一人一人の児童の特性を理解し、心と体の健康教育の推進に努めてきました。保健室経営において、児童の気持ちに寄り添って話を聞き、児童一人一人の特性に合わせた細やかな対応を続けています。緊急時には的確な判断と迅速な対応を行い、保護者や教員からも信頼の厚い養護教諭です。また、特別支援コーディネーターとして、児童の実態把握、校内委員会の企画・運営を行い情報共有を図るとともに、関係諸機関との連携を密にして、より良い支援体制を構築しています。さらに、学校運営においては、経営上の課題や職務上の役割をよく理解し、関係者との協力や意思の疎通を図りながら実践に努めてきました。食物アレルギー対応緊急マニュアルを基に体験型職員研修など豊富なアイデアを生かした企画・実践に取組み教職員の育成にも貢献しています。

優れた授業力を有し、わかりやすい授業と充実した学級経営を実践しており、学年経営にも力量を発揮して、若手教員の授業を向上させています。昨年度まで3年間研究主任として研究主題「心豊かな児童の育成」の具現化に向けて校内研究を推進してきました。毎年自ら道徳の研究授業を行うことで、めざす授業の模範と研究の進む方向を示し、全教員のやる気を喚起しました。同教諭の尽力により、全教職員が一丸となり、全教育活動を通じて道徳教育を継続すること、豊かな心が育まれ児童の変容につながっています。さらに、府中市教育研究会道徳部の副部長として、道徳教育における小中学校連携にも多大な貢献をしています。今年度から生活指導主幹教諭として、学校長の経営方針を受けて職務を遂行し、児童が安全に安心して生活できるように生活指導部をけん引しています。



平木 正行  
主幹教諭  
若松小学校  
教職歴 26年  
市内在職 11年

主幹教諭として、副校長の補佐として学校全体に目を配り、校長の経営方針を具現化することに尽力しています。若手教員の育成、経営困難な学級の立て直し、特別支援教育の推進等、様々な課題を解決する活躍をしています。特に、算数少人数指導担当として、各学年担任と内容や指導過程について入念に打ち合わせを行い、算数教育の充実と指導の質の向上に個人別指導を粘り強く継続したり、「東京ベシックドリル」を計画的に活用したりして、基本的な学習内容を定着させるとともに思考力や表現力を高め、全体の学力向上に結び付けています。また、体育を専門教科として研究を重ね、府中市教育研究会体育部の中心となって研究を推進しています。その研究成果を校内に反映させ、教員を対象にした授業研究会、実技研修会を実施して、体育授業の改善や若手教員の指導力向上にも貢献しています。その結果、運動好きな児童が増え、児童の体力が向上しています。

### 教育振興基金について

公益信託東京府中ロータリークラブ  
教育振興基金運営委員会

委員長 松村 信幸

東京府中ロータリークラブは、教育こそが国家の将来を左右するとの認識に基づき、クラブ創立二十周年の記念事業として本基金を創設いたしました。

その趣旨は、市立小中学校において顕著な功績をあげられた先生方を教育功労者として顕彰するというもので、府中市、府中市教育委員会、府中市立小中学校校長会のご協力のもと、三十五年間に304の先生を顕彰してまいりました。

当クラブは、創立当初より青少年育成に主眼をおいた奉仕活動に注力して参りましたが、教育功労者顕彰事業は四十三年目を迎えた作文コンクールと並び継続事業の柱となっています。

時節柄、基金の維持運営には難しい面もありますが、会員一同意義ある限りは続けてゆきたいと考えておりますので、従前の通りご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 教育功労者選考について

選考委員長 丹代 徹

教育功労者顕彰事業は、府中の教育に大きな功績があった府中市公立小中学校の教諭を対象におこなわれている事業で、今年度で三十五回目を迎えています。これまで表彰された先生方は、府中市のリーダーとして活躍され教育や子どもたちの健全育成に大きく貢献し、府中市の子どものために力を尽くしてくれています。そのためこの選考は将来、府中市の教育に大きな影響を及ぼす責任の重い仕事であり、選考委員はこの事業の趣旨にそつう万全を期して選考にあたりました。

現在多くの小中学校では新規採用教員の増加に伴い、若手教員の育成のためにOJTを実施し授業はもとより生活指導、学校運営の基本などについて指導・育成を図っていくことが大きな課題となつています。その指導者として先頭に立って学校現場で活躍されている先生方を小中学校の校長先生方より小学校八名、中学校六名のご推薦いただきます。

顕彰された先生方は、ご家族の応援を受けながら、さらに府中市のために力を注いでくれると考えています。

本事業が、教育の振興に大きく寄与されていることに敬意を表すと共に、今後とも継続していただきますようお願い申し上げます。選考のご報告いたします。

それだけ大変難しい選考でありましたが、選考委員会といしましては、最善を尽くして選考にあたりました。

選考では、学習活動、生活指導、学校運営、教育に対する熱意、地域への貢献などについて推薦書に書かれている内容から読み取り、最終選考では、選考委員一人一人から補足説明をしていただき、全員一致で小学校四名、中学校三名を顕彰候補者として運営委員会に推薦しました。運営委員会での最終決定を経て、教育功労者として顕彰されました。



▲晴れの教育功労者（前列）



第43回 作文コンクール

ロータリークラブ賞作品

平成29年6月24日（土）  
ルミエール府中 コンベンションホール飛鳥



まほうの言葉

府中第九小学校 三年二組

神山 りん

二年生の春休み。私はお母さんといっしょに、く  
るるに買い物に行こうと府中へきへむかっています。  
た。もうすぐえきにつく所で、おばあさんが、あち  
こちみながらうろうろと歩いていました。「どう  
したのかな。何を見ているんだろう。」と思ったと  
き、お母さんが、「どうかしましたか。」とおばあ  
さんに話しかけました。するとおばあさんは、「け  
やきホールはどちらですか。」と答えました。お母  
さんはちよつとこまったようにわたしを見て、「ど  
こだったかな」と考えていたので、「わたし分かる  
よ。ピアノのはつびよう会をした所だから知って



妹のやさしさ

本宿小学校 六年二組

山本 小暖

私は、妹に「ありがとう」を言いたい。妹のやさ  
しさを心から感じ、私も見習いたいと思う。四年生  
のときの出来事だった。

休日に私が風邪をひいてしまった。頭痛がひど  
く、熱もあったため、家族とは別の部屋でねていた。  
時々お父さんとお母さんが心配して、私の様子を見  
に来てくれた。熱を計ってくれたり、食べられそう  
なご飯を運んでくれたりした。もちろん、お父  
さんとお母さんにとっても感謝していた。ところが、  
私がねられずにいると、部屋のドアが開く音がした。  
見ると、妹がそこにいた。そして、  
「こっちゃん、後で見てね。」と、言っ



味に隠された思い

府中第九中学校 三年B組

田里 伊譜

めんどくさい。私は心の中ではそつとつぶやいた。  
だらだらと動く、その重たい手に持っているのは弁  
当箱とスポンジ。学校から帰って来たばかりなのに、  
なぜこんな油でベトベトしたものを触らなくては  
いけない。でも、洗うのをさぼって次の日母から雷が  
落ちるのも嫌だ。そう思っ

生まれつき重度の小麦アレルギーで、幼稚園から  
現在に至るまで、ずっと母の手作り弁当で過ごして  
来た。周りで給食を食べている子達を見て、うらや

る。」と思わず言っていました。お母さんは、「本  
当に分かるの。」と聞かれたので、わたしは、「大  
じょうぶ。間ちがいないよ。だってプログラムにけ  
やきホールって書いてあったんだから。」と言うと、  
お母さんは安心したようにわたしを見てから、「わ  
たしたちも同じ方こうなので、いっしょに行きま  
しょう。」と、おばあさんに言いました。けやきホー  
ルにむかいながら、おばあさんは、お友だちの歌の  
はつびよう会を見にきたこと。でもはじめて府中に  
きたから、けやきホールの場所が分からなかったこ  
とを話してくれました。けやきホールの入り口まで  
くると、おばあさんは、  
「ありがとう。たすかりました。本当にありがと  
う。」と言って、すぐくうれしそうにわらってくれ  
ました。

て」という言葉は、自分が言っても人に言われても、  
うれしい気持ちになるので、ふわふわ言葉と言いま  
す。はんたいに「バカ」や「へたくそ」といういい  
わるな言葉は、言われるといやな気持ちになるので、  
ちくちく言葉と言います。  
わたしはおばあさんに「ありがとう」と言われた  
とき、自分が「ありがとう」と言った時よりも何十  
倍もうれしくなりました。そして、心がふわふわと  
あったかくなって、元気が出ました。  
「ありがとう」は、まほうの言葉です。ありがと  
うと言われるとうれしくなります。そして、ありが  
とうと言った人もえ顔になります。だからわたしは、  
何かしてもらったらすぐに「ありがとう」と言いた  
いです。そして、みんなにもっとやさしくできるよ  
うになりたいと思います。

屋の入り口に置いた。すると、お母さんが、「風邪  
がうつっちゃうし、今はねているからこっちにおい  
で。」と、妹に言った。それを聞いて、妹は初めて  
自分に風邪がうつってしまうことに気がついたらし  
く、やさしくドアを閉めて行った。私は早速、妹が  
置いていった物を確かめた。それは、私あての手紙  
と色紙で作った傘だった。手紙には、「だいじよう  
ぶ？はやくなおるように、いのつてるよ。」と、書  
いてあった。一年生の妹が習いたての平仮名で一  
けん命書いてくれた姿が目にかんだ。私は、妹の  
温かい心づかいにとっても感動し、私も妹にいつか  
のやさしさを返したいと、心から思った。  
家族のおかげで無事、風邪を治すことができた。  
そして、心をこめて「ありがとう」を言った。妹か  
らもらった手紙と色紙の傘は、今でも大事にしてい  
る。この出来事から数ヶ月経ったある日、今度は妹が  
インフルエンザにかかってしまった。ぐったりして

いて、私と同様に、別の部屋でねていた。その様子  
を見て、以前妹にやさしくしてもらったときの感情  
を思い出した。私にもできることはないかと考えた。  
静かにドアを開けると、妹はねていた。私は妹の  
まくら元にそれを置いた。それは、私が作った「元  
氣づけるプリント」という、学校で起きた出来事を  
絵やクイズにしたものだ。しばらくして、妹は「元  
氣づけるプリント」に気がついた。そして妹は私に  
「ありがとう」と、何度も言った。本当は、私が妹  
にお礼を言いたいぐらいだった。でも、以前妹が私  
にしてくれた、温かい心づかいを、同じような形で  
返せたことはうれしかった。  
私は妹に、温かい心づかいでこんなにも気持ちよ  
く「ありがとう」を言ってもらえるんだということ  
を学ばせてもらった。改めて妹に「ありがとう」を  
言いたい。

まじいと思うこともあったけど、「お母さんの作っ  
てくれる私だけの給食だから。」と喜んで食べていた。  
毎朝お弁当を作る。そんな大変なことを母はして  
くれている。なのに、私の中でそれが当たり前に  
なっていて、いつしか母への感謝の気持ち  
が心の奥底へとしまわれてしまっていた。朝、お弁  
当が出来るのが遅くて文句を言ったこともあった。  
お弁当箱を洗うという自分の仕事も、母に言われて  
から行動することがほとんどで「めんどくさい」と  
いつも思っていた。  
そんなある日、私はまだ薄暗い朝に目を覚ました。  
隣の母の布団はすでに空になっていて、どこからか音  
も聞こえる。まさかと思いながら音の鳴る方へ向かっ  
て行くと、台所で母がにぎやかな音楽を奏でていた。  
驚いた。こんなにも朝早くから作ってくれていた  
のか。しかも、母の作っていたものはその日の給食  
の献立と同じだった。今までもそのようなことは何

度かあったが、実際に作っているのを見ると、かな  
りの手間がかかっていることに気づく。  
言葉を手間が失っている私に、母はこう言った。  
「今まで、沢山我慢して来たもんね。だから少しで  
もみんなと同じものが食べられたらなって。」  
私は母を真つすぐ見つめた。心の中に温かいもの  
が広がって、何かがこみ上げてくる。毎朝眠い目を  
こすりながら作ってくれていると思うとうれしくて、  
同時に今まで母への感謝を忘れていた自分に腹が  
立って、でも母の思いが心に響いて……。  
「ありがとう」この一言に全てを込めた。その時  
の母の笑顔は、今でも忘れられない。  
人は絶対、誰かに支えられて生きている。あたり  
まえ、と思っていることだって、一歩下がって考えて  
みれば、感謝へとつながっているはず。だから、なに  
げないことでも、感謝の気持ちを忘れず、声に出し  
て伝えてみようと思に決めた。「ありがとう」って。

第四十三回 作文コンクール審査を終えて

審査委員長 府中市立南白糸台小学校 三村 晶子

本年度のテーマは、小学校・中学校共に、「ありが  
とう」感謝」でした。私達は、日々多くの人たちの  
の関わりの中で生きています。何気なくしたことに思  
いがけない「ありがとう」が返ってきて、心が温か  
くなった経験があるかもしれません。また、うまくい  
かない時に、周りの大人や友達に励ましてもらったり、  
助けてもらった経験が誰にでもあると思います。  
その時、「ありがとう」という言葉を素直に伝えるこ  
とができたでしょうか。「ありがとう」という美しく  
温かい言葉にまつわる体験を思い出し、自分を見つめ  
その体験から得たこと、感じたことを作文にまとめ  
ほしいと願い、このテーマを設定しました。  
四十三回を迎える今年度は、昨年度を一千点以上も  
上回る一万四千五百八十四点の応募がありました。顕  
著だったのは、中学生の応募が九百四十四点増えたこと  
です。小学生だけでなく、部活動などで忙しくしてい  
る中学生のみなさんも、自分と向き合い、頑張っ

文を書いていることをとても嬉しく思います。  
これらの作品は、二十三人の審査員の先生方を中心  
に、次のような基準のもとで、審査を行いました。  
● 自分の生活体験から取材したものであり、作文を書  
いた人の成長が感じられる作品  
● 具体性があって、心に伝わってくる作品  
● 人権尊重を重視し、思索に深みがある作品  
● 表現力が豊かで、読み手の心に沁み通る作品  
● 文章構成を工夫している作品  
● 学年相応に表現が正確である作品  
● 学年相応な字で、丁寧に書いている作品  
以上のような基準をもとに、書いた人の主題や意図  
を考えながら、長い時間をかけて、丁寧に審査を進め  
ました。その結果、ロータリー賞、金賞、銀賞、銅賞、  
計二百七十二名の優れた作品を決定しました。入賞さ  
れたみなさん、本当におめでとうございます。  
作品を読んでみると、みなさんにとって「ありがと  
う」という言葉が言ったり、聞いたりする場面はごく  
身近にあり、感謝の気持ちをもち生活していること  
がよく伝わってきました。  
小学校低学年の作品からは、みなさんが自分ででき  
ることは進んで行い、してもらったことにお返ししよ  
うと頑張っていることが伝わってきました。家族や友  
達という身近な人への、一番近くにある「ありがとう」  
の気持ちが作品からあふれてくるようでした。  
高学年の作品には、友達や学校の先生、習い事の先生  
や地域の方々と感謝する相手に広がりが見られました。  
そして、「どうして、あの時、ありがとうと言えなかつ  
たのだろう」と振り返り、後悔の気持ちをバネに、これ  
からの自分のあり方を考えている姿が見られました。  
中学生の作品は、自分の体験の中からの綴り、より  
具体的な生活体験に基づいて書いていました。「あり  
がとう」の意味や「感謝」の気持ちを頭では分かって  
いても素直になれない葛藤に正面から向き合っ



第43回 作文コンクール入賞者一覧

課題

小学校低学年の部(2・3年生) テーマ：ありがとう ・各学年とも題名は自由  
小学校高学年の部(4・5・6年生) テーマ：ありがとう ・各学年とも題名は自由  
中学校の部 テーマ：ありがとう ・各学年とも題名は自由

|                  |  |                      |                          |                    |
|------------------|--|----------------------|--------------------------|--------------------|
| 対象 / 府中市在学の小・中学生 |  | 応募総数：14,584 点 (35 校) | 〔内訳〕 小学生：10,469 点 (23 校) | 中学生：4,115 点 (12 校) |
|------------------|--|----------------------|--------------------------|--------------------|

ロータリークラブ賞 (3点)

府中第九小学校 3年 神 山 凜  
本 宿 小 学 校 6年 山 本 小 暖  
府中第九中学校 3年 田 里 伊 譜

金 賞 (5点)

府中第二小学校 2年 柳 谷 圭 音  
若 松 小 学 校 4年 古 賀 麻里衣  
本 宿 小 学 校 5年 瀬 尾 香 苗  
府中第一中学校 1年 平 川 愛 理  
府中第三中学校 2年 宮 前 梓

銀 賞

小学校 50 名  
府中第七小学校 2年 佐 藤 優 伍  
府中第七小学校 2年 湯 浅 梓 生  
府中第九小学校 2年 立 花 優 芽  
府中第九小学校 2年 守 崎 実 羽  
白糸台小学校 2年 丸 山 穂 葉  
南 町 小 学 校 2年 濱 川 七 美  
明 星 小 学 校 2年 松 崎 美 紀  
府中第七小学校 3年 石 川 優 羽  
府中第七小学校 3年 永 井 智 汎  
南白糸台小学校 3年 高 木 玲 花  
南白糸台小学校 3年 中 野 鈴 美  
南白糸台小学校 3年 古 屋 杏  
四 谷 小 学 校 3年 酒 井 徹 平  
府中第三小学校 4年 久 保 ななみ  
府中第三小学校 4年 西 澤 美 緒  
府中第五小学校 4年 田 中 真悠子  
府中第六小学校 4年 棧 妃 香  
府中第六小学校 4年 遠 藤 有 華  
府中第七小学校 4年 近 藤 星 楽  
府中第八小学校 4年 古 賀 ひより  
府中第十小学校 4年 石 井 紗 良  
住 吉 小 学 校 4年 岡 田 彩 乃  
白糸台小学校 4年 亀 倉 春 乃  
若 松 小 学 校 4年 安 陪 姫 来  
小 柳 小 学 校 4年 又 吉 葵  
南白糸台小学校 4年 佐 藤 百 華  
南白糸台小学校 4年 半 場 伊 織  
四 谷 小 学 校 4年 松 平 亜弥子  
明 星 小 学 校 4年 當 麻 美 怜  
府中第二小学校 5年 長 沼 梨想加  
府中第二小学校 5年 馬 越 愛  
府中第四小学校 5年 小 勝 友 香  
府中第六小学校 5年 鈴 木 柑 奈  
府中第七小学校 5年 藤 原 美 里  
府中第八小学校 5年 長 田 集 生  
府中第八小学校 5年 西 本 詩 雫  
府中第八小学校 5年 延 本 小 春  
府中第九小学校 5年 舟 津 凜  
府中第十小学校 5年 齋 藤 菜帆子  
府中第十小学校 5年 丹 澤 春 樹  
住 吉 小 学 校 5年 田 村 将 真  
本 宿 小 学 校 5年 田 中 太 稀

本 宿 小 学 校 5年 福 田 孔 明  
本 宿 小 学 校 5年 阿 部 紗也加  
本 宿 小 学 校 5年 落 合 夏 海  
白糸台小学校 5年 大 谷 泰 生  
住 吉 小 学 校 6年 北 澤 柚 那  
本 宿 小 学 校 6年 塚 田 怜 佳  
若 松 小 学 校 6年 大 西 美 緒  
明 星 小 学 校 6年 岩 崎 瑛 仁

中学校 41 名  
府中第一中学校 1年 八重樫 佑 衣  
府中第一中学校 1年 穴 戸 瑞 希  
府中第一中学校 1年 本 間 滯 菜  
府中第一中学校 1年 杉 原 奏 歩  
府中第四中学校 1年 小 川 和 那  
府中第四中学校 1年 小 高 彩 乃  
府中第四中学校 1年 村 木 に こ  
府中第八中学校 1年 内 田 柊  
府中第九中学校 1年 宮 川 真 唯  
浅 間 中 学 校 1年 大 野 圭 太  
明 星 中 学 校 1年 新 井 みのり  
府中第一中学校 2年 山 本 芽 依  
府中第一中学校 2年 久保田 蘭  
府中第三中学校 2年 浅 見 友 理  
府中第四中学校 2年 関 口 雄 平  
府中第六中学校 2年 森 下 結 梨  
府中第六中学校 2年 矢 萩 真 悟  
府中第六中学校 2年 渡 部 和  
府中第六中学校 2年 五十嵐 優 来  
府中第六中学校 2年 黒 部 英 司  
府中第十中学校 2年 福 田 凌  
浅 間 中 学 校 2年 李 悠 華  
浅 間 中 学 校 2年 出 口 実智恵  
浅 間 中 学 校 2年 福 本 真菜美  
府中第一中学校 3年 田 中 凜  
府中第一中学校 3年 福 島 綺 華  
府中第一中学校 3年 田 淵 菜々穂  
府中第二中学校 3年 市 川 花 梨  
府中第二中学校 3年 岸 空 夏  
府中第四中学校 3年 野 口 ほのか  
府中第四中学校 3年 笠 井 智 衆  
府中第六中学校 3年 藤 川 真 帆  
府中第六中学校 3年 尾 木 七 海  
府中第七中学校 3年 小 林 菜 波  
府中第八中学校 3年 高 野 遥 稀  
府中第九中学校 3年 中 村 梨 緒  
府中第十中学校 3年 中 島 清  
府中第十中学校 3年 神 田 遥 音  
浅 間 中 学 校 3年 田 村 春 香  
浅 間 中 学 校 3年 菊 池 光  
浅 間 中 学 校 3年 竹 川 泰 斗

銅 賞

小学校 90 名  
府中第二小学校 2年 川 鍋 杏 花  
府中第五小学校 2年 中 川 瑚乃音  
府中第六小学校 2年 中 山 夏 萌  
府中第七小学校 2年 奥 山 奈々花

府中第七小学校 2年 小 林 瑠 奈  
府中第七小学校 2年 土 屋 璃衣子  
府中第七小学校 2年 太 田 良 成  
白糸台小学校 2年 佐 藤 虎太郎  
若 松 小 学 校 2年 梶 本 寧 々  
小 柳 小 学 校 2年 大 村 謙 介  
小 柳 小 学 校 2年 横 山 直 穂  
南白糸台小学校 2年 長 谷 真 衣  
南白糸台小学校 2年 島 崎 陸  
日 新 小 学 校 2年 塩 田 湖 音  
日 新 小 学 校 2年 田 中 莉 奈  
明 星 小 学 校 2年 村上タバサ夢希  
府中第二小学校 3年 溝 内 凜 央  
府中第三小学校 3年 平 野 ともみ  
府中第六小学校 3年 竹 山 明香里  
府中第六小学校 3年 岡 本 雅 弘  
府中第六小学校 3年 中 座 真 綺  
府中第六小学校 3年 加 藤 マリア  
府中第八小学校 3年 乙 守 杏咲美  
府中第八小学校 3年 山之内 千 楓  
若 松 小 学 校 3年 神 田 壮 吾  
南白糸台小学校 3年 小宮山 花 菜  
南白糸台小学校 3年 石 井 悠之介  
南 町 小 学 校 3年 新 田 雪 柅  
日 新 小 学 校 3年 佐 藤 柚 月  
明 星 小 学 校 3年 杉 原 優太郎  
府中第一小学校 4年 黒 葛 楓 愛  
府中第一小学校 4年 村 上 碧 美  
府中第二小学校 4年 小 林 彩 羽  
府中第二小学校 4年 梅 垣 蓮  
府中第三小学校 4年 児 玉 知 佳  
府中第四小学校 4年 高 橋 葵 心  
府中第八小学校 4年 芦 澤 陽菜里  
府中第九小学校 4年 高 橋 優 衣  
府中第十小学校 4年 赤 峰 怜 和  
府中第十小学校 4年 津 野 結 李  
住 吉 小 学 校 4年 松 村 真 詩  
新 町 小 学 校 4年 津 田 樹 里  
本 宿 小 学 校 4年 加 藤 大 智  
本 宿 小 学 校 4年 神 部 玲 菜  
本 宿 小 学 校 4年 大 場 由 菜  
本 宿 小 学 校 4年 福 島 奈 緒  
本 宿 小 学 校 4年 奈 良 悠 未  
白糸台小学校 4年 岡 本 夏 帆  
白糸台小学校 4年 橋 口 幹 太  
白糸台小学校 4年 林 田 鈴 音  
若 松 小 学 校 4年 川 原 ひかる  
若 松 小 学 校 4年 小 林 凜 央  
若 松 小 学 校 4年 小 川 詩 織  
南白糸台小学校 4年 杉山田 優 奈  
南白糸台小学校 4年 近 みのり  
日 新 小 学 校 4年 吉 田 莉 乃  
日 新 小 学 校 4年 樋 熊 亜 純  
明 星 小 学 校 4年 小 林 美 琴  
府中第一小学校 5年 高 橋 伶 央  
府中第四小学校 5年 芦 沢 圭 吾  
府中第五小学校 5年 藤 川 航 多

府中第六小学校 5年 宮 崎 絆 光  
府中第六小学校 5年 和 田 莉 音  
府中第七小学校 5年 鈴 木 那 歩  
府中第八小学校 5年 坂 梨 大 牙  
府中第八小学校 5年 星 野 楓  
武蔵台小学校 5年 吉 川 文 乃  
住 吉 小 学 校 5年 長谷川 樹 羽  
本 宿 小 学 校 5年 村 上 瑠名斗  
本 宿 小 学 校 5年 谷 内 唯 花  
本 宿 小 学 校 5年 平 良 詩  
白糸台小学校 5年 中 川 真由香  
白糸台小学校 5年 佐 藤 晴  
矢 崎 小 学 校 5年 越 智 みさと  
若 松 小 学 校 5年 三 浦 実 夏  
南白糸台小学校 5年 島 崎 遥  
南白糸台小学校 5年 坂 田 結 衣  
南 町 小 学 校 5年 石 渡 友 悠  
府中第二小学校 6年 服 部 七 海  
府中第六小学校 6年 紅 谷 咲 良  
府中第八小学校 6年 川 辺 優  
府中第九小学校 6年 桑 原 一 颯  
住 吉 小 学 校 6年 森 遥 香  
本 宿 小 学 校 6年 堀 越 美 来  
白糸台小学校 6年 大 野 瑠 楠  
白糸台小学校 6年 小 関 菜々花  
四 谷 小 学 校 6年 酒 井 笙太郎  
日 新 小 学 校 6年 中 道 日 翔  
明 星 小 学 校 6年 大 西 航  
明 星 小 学 校 6年 今 田 真 緒

中学校 83 名  
府中第一中学校 1年 佐 藤 菜 卯  
府中第一中学校 1年 竹 山 果 穂  
府中第四中学校 1年 金 平 姫 乃  
府中第四中学校 1年 谷 原 互 顕  
府中第四中学校 1年 高 瀬 結 愛  
府中第八中学校 1年 大 野 優 空  
府中第八中学校 1年 清 水 光 恵  
府中第八中学校 1年 飯 田 美 季  
府中第八中学校 1年 金 井 晴 佳  
府中第八中学校 1年 岩 淵 真 緒  
府中第八中学校 1年 中 村 唯 乃  
府中第十中学校 1年 江 原 有 香  
府中第十中学校 1年 佐々木 日 和  
府中第十中学校 1年 下 村 咲 萌  
府中第十中学校 1年 天 野 幸 汰  
府中第十中学校 1年 青 山 菜 菜  
浅 間 中 学 校 1年 杉 山 結 美  
浅 間 中 学 校 1年 佐 藤 悠 月  
明 星 中 学 校 1年 内 野 心 陽  
明 星 中 学 校 1年 川 上 奈 桜  
明 星 中 学 校 1年 吉 田 美 菜  
明 星 中 学 校 1年 瀬 戸 航 之  
明 星 中 学 校 1年 田 口 皆 実  
府中第一中学校 2年 大 澤 颯 司  
府中第一中学校 2年 織 田 夏 希  
府中第一中学校 2年 山 本 梨 央  
府中第一中学校 2年 石 井 貴 大

府中第一中学校 2年 岩 見 こはく  
府中第一中学校 2年 岩 田 奈緒美  
府中第三中学校 2年 酒 井 美 紀  
府中第三中学校 2年 大久保 舞 笑  
府中第三中学校 2年 中 原 葵  
府中第四中学校 2年 喜多村 賢  
府中第四中学校 2年 野 原 皐 太  
府中第四中学校 2年 福 田 鳴 人  
府中第五中学校 2年 池 田 慶 太  
府中第五中学校 2年 岩 澤 ことみ  
府中第五中学校 2年 山 本 藍 莉  
府中第五中学校 2年 居 倉 睦 珠  
府中第六中学校 2年 間 野 舞 夏  
府中第六中学校 2年 有 賀 芽  
府中第九中学校 2年 増 田 千 恵  
府中第九中学校 2年 高 野 葵 香  
府中第十中学校 2年 島 田 明 理  
府中第十中学校 2年 城 戸 颯 太  
府中第十中学校 2年 杉 本 葵  
浅 間 中 学 校 2年 清 田 美 波  
浅 間 中 学 校 2年 李 悠 実  
明 星 中 学 校 2年 水 越 望 杏  
府中第一中学校 3年 井 出 さくら  
府中第一中学校 3年 國 吉 優 羽  
府中第一中学校 3年 大 澤 鉄 平  
府中第一中学校 3年 河 野 菜 美  
府中第二中学校 3年 鈴 木 聖 母  
府中第二中学校 3年 田 代 彩 菜  
府中第二中学校 3年 池 香 月  
府中第二中学校 3年 山 口 愛 未  
府中第四中学校 3年 山 岸 愛 美  
府中第四中学校 3年 三 輪 帆 南  
府中第四中学校 3年 小 澤 茉 奈  
府中第四中学校 3年 松 村 美奈代  
府中第五中学校 3年 久 志 智 子  
府中第五中学校 3年 濱 口 碧 斗  
府中第六中学校 3年 宮 澤 慧 太  
府中第六中学校 3年 伊 藤 千 里  
府中第六中学校 3年 浅 井 竜 也  
府中第六中学校 3年 向 田 朱 里  
府中第七中学校 3年 チャンズ 美 夏  
府中第七中学校 3年 三 宅 蘭  
府中第八中学校 3年 原 田 皓 生  
府中第八中学校 3年 松 永 日美香  
府中第八中学校 3年 川 上 夏 奈  
府中第十中学校 3年 鈴 木 綸 亜  
府中第十中学校 3年 宮 地 唯 萌  
府中第十中学校 3年 鈴 木 大 斗  
浅 間 中 学 校 3年 工 藤 みのり  
浅 間 中 学 校 3年 田 村 千 怜  
浅 間 中 学 校 3年 戸井田 杏 奈  
浅 間 中 学 校 3年 戸 田 浩 可  
浅 間 中 学 校 3年 高 村 香菜子  
浅 間 中 学 校 3年 三 木 香 花  
明 星 中 学 校 3年 荒 木 美 里

東京府中ロータリークラブ会員名

2016.7.1 ～ 2017.6.30 会員数 53 名

〈理事・役員〉

〈会 員〉

小 林 伸 夫  
会長  
サンコウ総合設備(株)  
代表取締役

相 川 恭 広  
S M B C 日興証券(株)  
調布支店部長兼  
F C 課長

森 本 昇  
のぼりや不動産(株)  
代表取締役社長

田 中 昇  
(株)タイレル代表取締役

加 藤 吉 松  
会長エレクト  
加藤建設(株)取締役会長

荒 井 清  
多摩信用金庫  
府中支店長

村 上 保 裕  
(株)マイテック  
代表取締役

梅 原 勝 彦  
(株)イーワン精密  
取締役相談役

大 木 稔  
副会長  
代表取締役社長  
(株)大木組

福 島 徹 也  
(株)セルバンデス  
代表取締役

村 野 猛  
(南)村野商店代表取締役

宇 都 宮 秀 仁  
(株)日華代表取締役社長

松 村 信 幸  
理事  
(株)ブラックス  
取締役会長

古 谷 正 志  
(南)八千代商事不動産  
代表取締役

中 村 尚 道  
公益社団法人  
調布市医師会顧問

若 松 寧  
医療法人社団和徳会  
若松歯科医院理事長

高 橋 晴 彦  
理事  
高橋興産(南)取締役

濱 中 重 美  
(南)浜喜屋代表取締役

根 守 克 彰  
須田清法律事務所  
弁護士

和 久 哲 也  
野村證券(株)府中支店長

田 中 善 雄  
理事  
(株)府中植木代表取締役

市 川 恭 秀  
(株)金子園相談役

西 尾 雄 二 郎  
山内聰 美  
大和証券(株)府中支店長

吉 野 幹 夫  
(各)よしの家代表者

伊 藤 研 二  
理事  
(株)コーシン代表取締役

印 部 武 順  
(株)栃木家石材店  
取締役会長

小 川 一 廣  
学校法人田中育英会  
東京エトラベル・  
ホテル専門学校校長

吉 田 元 一  
学校法人明星学苑  
理事長

榎 ケ 埜 俊 彦  
理事  
(株)守屋商会代表取締役

猪 澤 伊 知 郎  
サントリービール(株)  
武蔵野ビール工場長

大 前 明  
(株)クレストア代表取締役

吉 岡 孝 明  
天神町クリニック院長

松 山 晃  
理事  
松山会計事務所代表

猪 澤 伊 知 郎  
サントリービール(株)  
武蔵野ビール工場長

小 宅 肇  
府中観光交通(株)  
代表取締役

阪 元 法 雄  
(株)三菱東京UFJ銀行  
多摩中央支社長

塚 崎 修  
会計  
(株)八千代銀行執行役員  
府中支店長

十 藏 寺 新  
医療法人社団新愛会  
東府中病院名誉院長

小 宅 肇  
府中観光交通(株)  
代表取締役

芝 辻 義 治  
京王建設(株)

池 上 敦 雄  
幹事  
(南)池代表取締役

柿 田 清 彦  
J R A 日本中央競馬会  
東京競馬場場長

阪 元 法 雄  
(株)三菱東京UFJ銀行  
多摩中央支社長

藤 原 定  
(株)篠原電気工業  
代表取締役

中 原 修  
副幹事  
国際航業(株)  
取締役相談役

加 藤 茂  
(株)八洲代表取締役

須 藤 光 忠  
(株)三晃代表取締役

梅 原 勝 彦  
(株)イーワン精密  
取締役相談役

佐 藤 靖 生  
副幹事  
一級建築士事務所  
(南)佐藤靖生建築研究所  
代表取締役

岸 本 光 弘  
(株)三越伊勢丹  
伊勢丹府中店長

篠 原 定  
(株)篠原電気工業  
代表取締役

宇 都 宮 秀 仁  
(株)日華代表取締役社長

池 田 征 士 郎  
S ・ A ・ A  
(株)インテック防水  
代表取締役

松 村 英 裕  
医療法人社団根岸病院  
常務理事

高 野 紘 一  
府中スポーツ代表者

若 松 寧  
医療法人社団和徳会  
若松歯科医院理事長